

いのちのちに寄り添う2

ともに生きるために

死にたいという思いを抱かざるをえない人たちに私たちは何ができるのか、また、そこで自死にいたった方の遺された近親の人たちに私たちはどんな支援ができるのか。本シンポジウムではPart1に引き続き、遺された人たちとともに生きること、ご自身が死を選ばざるを得ない思いに追い込まれた人たちとともに生きること半生を捧げてきた石倉紘子さんに、じっくりとお話をお聞きします。

日時 2024年
1月28日(日)
14:00~16:00

開催方法 対面および
Zoomによる
オンライン開催

会場 キャンパスプラザ京都
(対面は会場の都合上定員15名までとなります)
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939
<アクセス>裏面のアクセスマップをご覧ください。

参加方法 Googleフォームによる事前申込
1/21(日)まで
右記QRコードよりアクセスしてください



講師

自殺対策—未遂者について考える

石倉 紘子氏

未遂者・家族を支える会「くいしんぼカフェ」代表
自死遺族サポートチーム「こころのカフェきょうと」スタッフ
厚生労働大臣指定法人いのちを支える自殺対策推進センター 理事

40歳で家族を自死で失い、その後、自らのためにも、また同じ思いをして悩んでいる人のためにも自死遺族支援を始め、この40年間、日本の自殺予防運動の大きな牽引力となってこられた。2020年以降、自死遺族支援を続けながら、未遂者とともに生きる活動を展開。自殺問題への新たな取り組みをはじめている。



指定討論者

坂田 昌嗣氏

未遂者・家族を支える会「くいしんぼカフェ」スタッフ
自死遺族支援グループ「こころのカフェきょうと」元スタッフ、
臨床心理士・公認心理師・博士(医学)

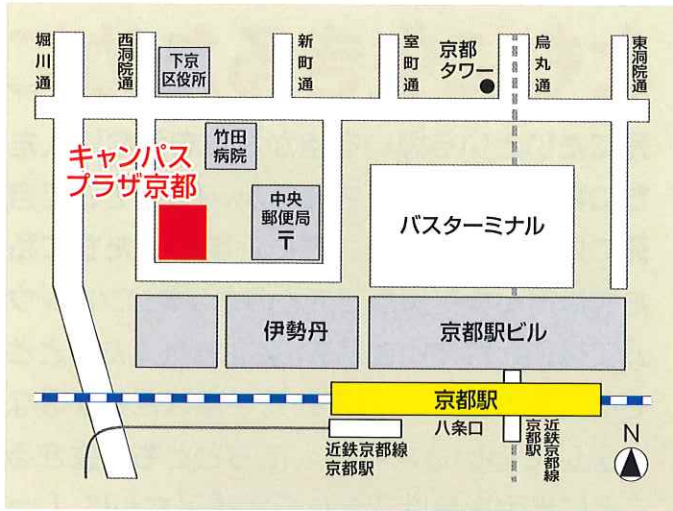
2004年立ち上げ時の「こころのカフェきょうと」を経た後、そこを原点とし、心理職として精神科医療、学校、地域保健現場でのメンタルヘルス支援に10年携わる。現在は京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻の助教として公衆衛生的なメンタルヘルス分野の研究と、京都市スクールカウンセラー・京都CBTセンターのカウンセラーとして児童から成人のカウンセリングに従事。2023年5月より「くいしんぼカフェ」のスタッフ。

●座長

濱野 清志氏

(一社)京都府臨床心理士会 会長/京都文教大学 教授

アクセスマップ



キャンパスプラザ京都

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939

◆電車・バスでお越しの方

- 京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」下車。徒歩5分。
- 市バス「京都駅」下車。徒歩5分。

◆自動車の場合(地下に駐車場があります)

- 西洞院通塩小路交差点から西洞院通を南下して入庫してください(出庫は左折のみ)。
- 利用時間:火~日曜日 8:30~21:30
- 利用料金:30分310円
- 駐車可能台数:27台
(満車の際はご利用頂けない場合もございます。)

「臨床心理士」を知っていますか?

悩みを抱え追い詰められた時、「死んでしまいたい」という想いは、誰にでも起こり得ます。

臨床心理士は、その気持ちにいち早く気づき、耳を傾け、

現実の「死」を避ける細心の注意を払っています。

また自死遺族となった方の苦しみに寄り添う、

大切な役割も担います。

一方で、「死の意味」は多様です。

生きること、心の成長と、深く関わっているのです。

私たち臨床心理士は、一人ひとりの「生・死」に、

真摯に向き合っています。



■臨床心理士とは

日本には様々な“カウンセラー”“相談員”がいます。そのうち「臨床心理士」とは、

- 臨床心理学に基づいた知識と技術で援助する、相談専門職です。
- 公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の認定を受けた、有資格者です。(現在では、原則として、臨床心理士養成に関する指定大学院または専門職大学院を修了し、所定条件を充足したうえで、臨床心理士資格試験に合格した場合に認定資格が与えられます。)

■(一社)京都府臨床心理士会とは

- 京都府内に在住もしくは勤務する臨床心理士が所属する一般社団法人で、会員数は1,365名です(2023年11月現在)。
- 研修会を開催し、心理的支援の専門家としての専門性維持・向上に努めています。
- 行政機関などとも連携し、府民のこころの健康増進に取り組んでいます。

■臨床心理士の仕事

- 臨床心理士は、左図のように、社会の様々な場面で働いています。